

春日井市の環境施策について

○ 令和5年度

1 他地域との連携【新規】

(1) 木曽広域連合

幅広い分野で連携・協力し、水源地の森林がもたらす恩恵の相互理解や住民の環境意識の向上、地球温暖化対策の推進等に取り組み、それぞれの地域課題の解決を図ることとし、令和5年10月10日、本市と木曽広域連合を構成する6町村間で協定を締結。

協定に基づく取り組みとして、J-クレジット制度を活用し、市域の温室効果ガス排出量のうち21t^{*1}について、木曽町の森林整備により見込まれる吸収量でオフセット(埋合せ・相殺)。また、水源林の大切さを親子で学ぶことを目的とし、産業部農政課主催により、木曽町において森林整備体験ツアーを実施。その他、かすがい環境賞記念品や出生祝い品等に、木曽地域の木工製品を活用。

※1 一般家庭7世帯が1年間に排出する温室効果ガスに相当する。

(2) 公益社団法人木曽三川水源造成公社

J-クレジット制度を活用し、市域の温室効果ガス排出量のうち850t^{*2}について、公社が管理する水源地の森林整備により見込まれる吸収量でオフセット(埋合せ・相殺)。また、水源林の恩恵の理解促進を目的とし、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議主催により、公社が管理する岐阜県中津川市根ノ上高原において間伐体験ツアーを実施。

※2 市内の小中学生約25,000人に提供される学校給食を調理する市内4か所の調理場が半年間に排出する温室効果ガスに相当する。

○ 令和6年度

1 ゼロカーボンセミナー【新規】

市内事業者がゼロカーボンの取り組みを推進していくため、春日井商工会議所、環境省中部地方環境事務所、愛知県環境局地球温暖化対策課、連携協定を締結している民間企業等の協力を得て、事業者支援補助事業や最新のゼロカーボンに関する取り組みを紹介する。

2 市民環境フォーラム

市民の環境保全意識の高揚を図るため著名人による環境講演、かすがい環境賞等の表彰を行っている当該事業について、従来以上に幅広い世代が気軽に参加できるよう、会場の変更や、多様な主体との連携による参加型・体験型ブースの出展等を検討していく。